



2023年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社Ubicomホールディングス
代表者名 代表取締役社長 青木 正之
(コード番号：3937 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員経営戦略本部長 八田 真資
(TEL. 03-5803-7339)

**通期連結業績予想と実績値との差異および
個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ**

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年2月9日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたしますとともに、2023年3月期の個別業績につきましても前期実績値との間に差異が生じたので併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想と実績値との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,446	1,254	1,271	925	78.52
今回実績値(B)	5,246	1,011	1,004	573	48.68
増減額(B - A)	△199	△242	△267	△351	
増減率(%)	△3.7	△19.3	△21.0	△38.0	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	4,726	1,033	1,055	832	70.38

(修正の理由)

当期においては、円安が進行したことによるインパクトに加え、グローバル事業を中心とした翌期以降のさらなる需要見通しの拡大を受け、先端技術人材をはじめとする投資を追加で実施いたしました。また、当社保有の投資有価証券で時価が著しく下落したものにつき、投資有価証券評価損を特別損失に計上したこと、並びに繰延税金資産の取り崩し等の「本業外」の要因により、前年比当期純利益が減少いたしました。

これらの結果、当期売上高は2023年2月9日に公表した予想を199百万円下回る5,246百万円（△3.7%）、営業利益は同予想を242百万円下回る1,011百万円（△19.3%）、経常利益は同予想を267百万円下回る1,004百万円（△21.0%）、親会社株主に帰属する当期純利益は同予想を351百万円下回る573百万円（△38.0%）となる見込みです。

2. 2023年3月期個別業績と前期実績値との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績値（A）	1,623	△35	233	383	32.45
当期実績値（B）	1,847	△6	225	176	15.00
増減額（B－A）	223	28	△7	△206	
増減率（％）	13.8	-	△3.1	△53.9	

（差異の理由）

当期においては、当社保有の投資有価証券で時価が著しく下落したものにつき、投資有価証券評価損を特別損失に計上したこと、並びに繰延税金資産の取り崩し等の「本業外」の要因により、前年比当期純利益が減少いたしました。

市場におけるDX需要の高まりに伴うIT人材不足、顧客における経済安全保障推進法等への対応に伴う当社フィリピンオペレーションへの期待増の影響をうけ、当社は創業以来の引き合い急増を受けており、これに対応すべく2023年3月期第2四半期より投資を加速してまいりました。

さらに2023年3月期第4四半期においては、従来想定を上回る需要見通しの拡大が翌期も継続する可能性が高まったことを踏まえ、人材の再教育、採用の増加、拠点拡充を中心とした計画外の追加投資を実行致しました。

当社Ubicomグループは引き続き、創業以来の業績・業容拡大のチャンスを捉えるべく、機動的に成長戦略を実行してまいります。何卒ご理解と一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。